

国際関係概論 17

林 光

2007年10月27日 木曜日

0 事務連絡

早めに出してくれた人にレポートを返却しています。
直せという指示が書いてあったら、その問題だけで
いいから再修正してください。何度もやって面倒くさい
と思うかも知れないけど、決して無駄にはなりません。

1 自由貿易

1.1 比較優位の理論

自由貿易 = 比較優位産業への特化 分業の利益
他方、比較劣位産業の縮小 構造調整が不可欠

1.2 比較優位の決定要因

- 地理 = 要素賦存率の違い
- 歴史 = 経路依存性¹ 戦略的貿易政策

表 1: エアバス対ボーイング

A\B	生産	生産 ×
生産	-10,-5	80,0
生産 ×	0,100	0,0

どちらかが単独で開発したら大儲けできる。
しかし両方が開発してきたらどちらも損する。
このときどちらが乗り出してくるか？
また、ここで EU が開発に補助金を出したら？
例えば生産すると + 11 される場合どうなる？

¹ある時点でたまたま生じた僅かな差が、外部性（規模の経済）
を通じて拡大していく状況。例：QWERTY キーボード

2 保護貿易

2.1 集合行為理論

保護貿易の利益は一部生産者に集中
自由貿易の利益は消費者全体に拡散

2.2 階級理論

2.2.1 Heckscher-Ohlin approach

Rogowski: 生産要素（資本・労働・土地）に対応した
社会集団（資本家・労働者・地主）を仮定

自由貿易

その国に豊富に賦存する要素へのリターン
社会集団間の政治的連合 / 亀裂²

2.2.2 Richard-Viner approach

Frieden: 重要なのは各生産要素のうちの特殊要素！
自由貿易

輸入競合部門における特殊要素の所有者への被害
他部門に移れない資本家・労働者間の連合・抵抗

2.3 「埋め込まれた自由主義」理論

ブレトンウッズ体制

国際：自由放任主義（資本移動は規制）

国内：ケインズ型福祉国家

²資本・労働の階級間対立、都会・地方の地域間対立など

3 通商レジーム

3.1 GATT-WTO 体制

特定互惠主義

拡散互惠主義

最恵国待遇による後者の追求

3.2 FTA

ただ乗り対策 = 二国間の自由化交渉

3.3 法化

協定違反对策 = 紛争処理システム

表 2: 管理学派 vs 執法学派

学派	管理	執行
違反	×意図的	意図的
遵守	多くで	浅いだけ
対策	アメ	ムチ